

リハビリテーション科医長
柏井 将文 (かしいまさふみ)



本年10月にリハビリテーション科に赴任しました。これまで大阪大学で11年間診療や研究に従事し、北摂地域の病院で約10年勤務しておりました。骨粗鬆症に代表される骨代謝疾患のエキスパート(投)と脊椎脊髄外科医(打)の二刀流をハイレベルでできるようにこれまで励んでまいりました。南河内地域や生まれ育った紀ノ川流域の患者さんに質の高い医療を提供するべく精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

脳血管内科 専攻医
小川 敦史 (おがわ あつし)




本年10月より、大阪南医療センター脳血管内科で勤務しております小川敦史です。半年前まで、初期研修期間を含めまして4年間当院で勤務しておりましたので、慣れた環境でこれまでの経験を活かし、いま一度頑張りたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。



独立行政法人 国立病院機構
大阪南医療センター

【表紙】 私たちの体に流れている血液は、「骨髄」という骨の中にある脂肪に富んだ柔らかい組織の中で作られています。そこでは「造血幹細胞」と呼ばれる細胞が盛んに細胞分裂しており、あるものは赤血球に、あるものは白血球に、またあるものは血小板になっていきます。そんな骨髄はまさに血液の製造工場といえることから、工場のイラストを表紙にしました。

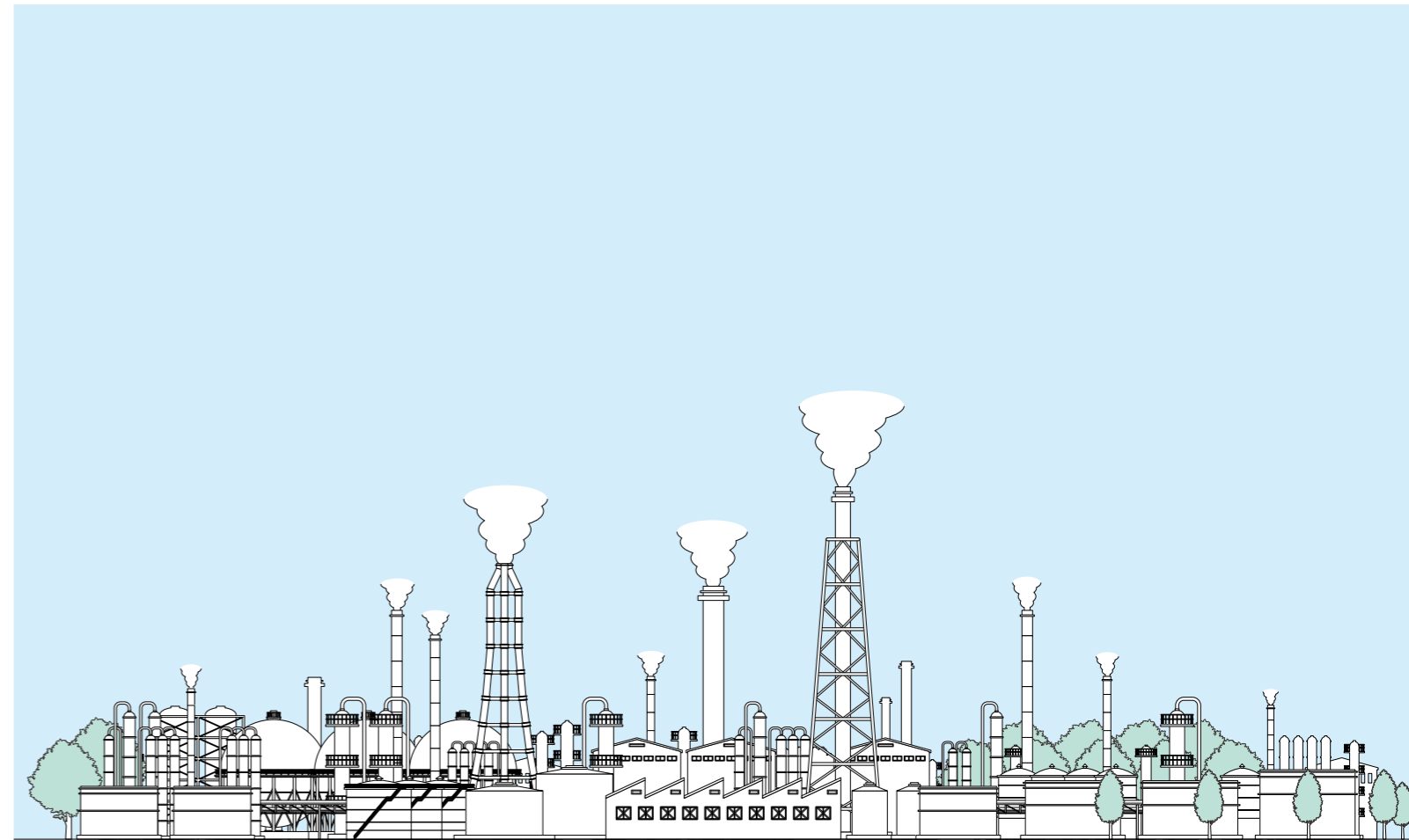
 **大阪南医療センター 循環器疾患センター** 胸背部痛、呼吸困難、動悸等 循環器疾患が疑われる際には緊急対応連絡先へご連絡ください。
24時間緊急対応 (ハートコール) 直通 Tel. 0721-53-3200

地域医療支援病院 | 地域がん診療連携拠点病院 〒586-8521 大阪府河内長野市木戸東町2-1 Tel.0721-53-5761 Fax.0721-53-8904
独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター <https://osakaminami.hosp.go.jp> 診察・検査の予約方法はこちら ▶

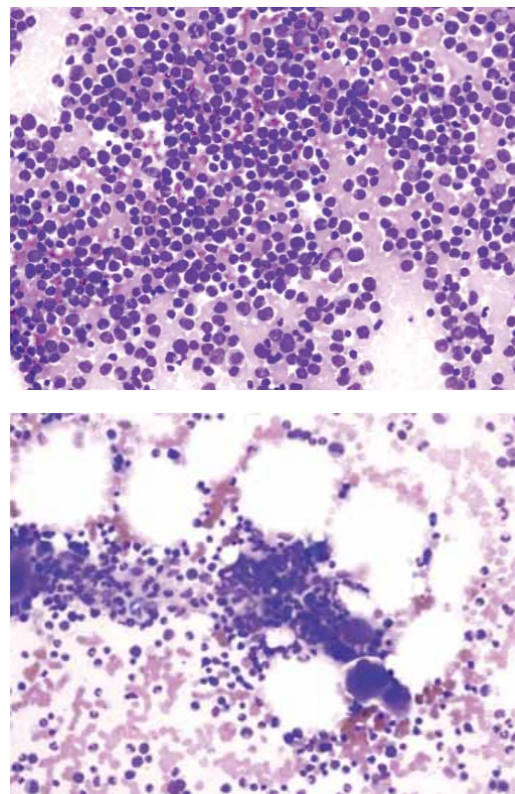


MINAMI MADO

2022.11. No.27



01 骨髄穿刺検査

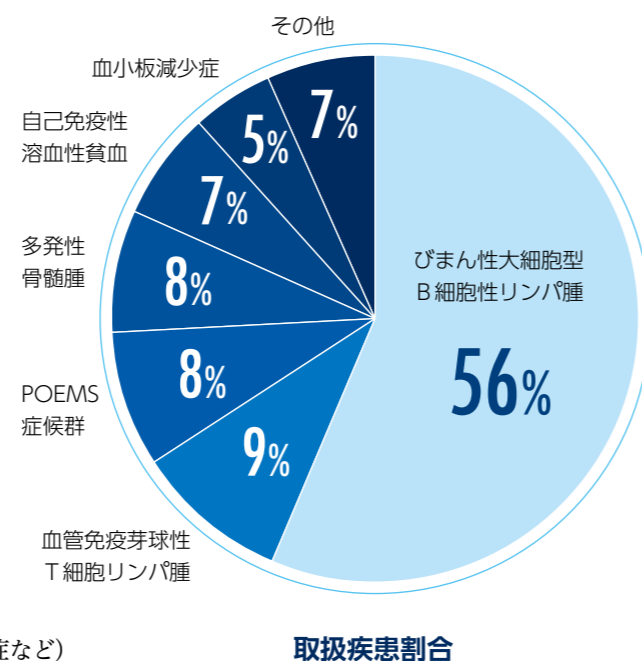


血液細胞は、骨髄という骨の中にある脂肪に富んだ柔らかい組織でつくられます。血球異常の原因を調べるためには骨髄の状態を調べなければならないことがあり、骨髄穿刺(骨髄に針を刺して骨髄液を吸引して採取する方法)を行います。骨髄穿刺検査では、形態学的検査、染色体検査、遺伝子検査、細胞表面タンパク質の分析などの検査を行います。

上段の写真は、急性骨髄性白血病の診断時の骨髄像です。白血病細胞が大部分を占めています。下段は、寛解導入療法を行い完全寛解となった時の骨髄像です。正常な骨髄球系細胞、赤芽球系細胞、巨核球が認められ、白血病細胞は認められません。

02 主な診療内容・取扱疾患

- 急性及び慢性白血病(骨髄性・リンパ性)
- 骨髄異形成症候群
- 悪性リンパ腫
- 骨髄増殖性疾患
(真性多血症・本態性血小板血症・慢性骨髄性白血病・骨髄線維症など)
- 多発性骨髄腫
- 貧血(再生不良性貧血・赤芽球癆・溶血性貧血など)
- 血小板減少(特発性血小板減少性紫斑病・免疫性血小板減少症など)
- 血栓症



03 2022年4月より診療再開！ 血液内科



血液内科部長
吉田均

約2年の間、入院診療は休診となっておりました血液内科の診療を、2022年4月より再開いたしました。医師2名の体制で診療を再開しております。

貧血や血小板減少症などの診断や、造血器悪性腫瘍の診断、抗がん剤治療などを主に取り扱っています。造血器悪性腫瘍に対する自己末梢血幹細胞移植は行っていく予定ですが、同種造血細胞移植やCAR-T療法などに必要な施設基準はまだ満たしておりませんので、適応のある患者さんは大学病院などにご紹介させて頂いております。将来的にはこれらの治療も施行可能となるように、少しずつ診療内容を充実させていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。